

(別紙様式例2)

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			体操等ができる十分なスペースを確保するとともに、個別スペースも十分に確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上に配置している。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○			基本的なバリアフリーの設備は有り。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			新型コロナウイルス等の感染予防にも努めている。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月1回以上職員会を開催し、話し合いの機会を設けているが、勤務の都合により、全職員が参加できる機会が限られているため、社内メール等を活用し、情報共有ができる体制を整えている。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			結果を全職員で共有し、改善できる事項については、迅速に対応している。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			10月に公表している。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していない。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		月1回以上研修の機会を設けることはもちろん、日常的にe-learningを活用して資質向上に努めている。また、今年度より、スーパーバイズを導入して取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			計画について全職員が共有し、統一した支援を提供できるように努めている。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員で役割分担をしてプログラムの計画・実施を行い、5つの柱である「参加型ゲーム」「運動」「音楽」「工作」「読み聞かせ」以外の活動も積極的に取り入れている。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校休業日の活動の流れや活動のプログラムを放課後とは区別して組み立てている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
適切な支援の提供（続き）	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員ミーティングを毎日実施し、当日の流れ（配慮事項を含む）や前日の振り返り（引継事項を含む）について共有している。
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録の方法についても共有し、ケース会や担当者会で活用している。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回（6か月に1回）実施している。
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者及び担当職員が参加している。
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか				該当なし。
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当なし。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			引き継ぎ会や担当者会等の機会を活用して連携を図るように努めているが、今後は日常的に連携できる体制を構築していく。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○			必要に応じて情報提供を行っている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		同法人内の児童発達支援センターとの連携を図っていく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	今後は学校休業日において、地域の児童クラブと交流する機会を作っていく。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			夏祭り等の行事に地域の方にご参加をいただくとともに、活動プログラムにもご協力いただいている。※新型コロナウイルスの影響により、今年度は制限有り。
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時の説明を徹底している。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			モニタリング（6ヶ月に1回）時に説明を行うとともに、保護者がお迎えに来られた際に随時状況の伝達も行っている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	現在は実施していないが、保護者からのご要望もあるため、まずはペアレント・トレーニングについての知識を深めていく。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者のお迎えの際や送迎の際の状況伝達を徹底するとともに、必要に応じて電話連絡を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
保護者への説明責任等（続き）	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		保護者からの相談に随時応じているが、今後は適切な助言と支援を行うための知識を深めていく。
	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、実施する予定である。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			マニュアルに沿って迅速かつ適切な対応に努めている。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭だけではなく、必要に応じて文章（プリント配布）にて提示を行っている。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年2回広報誌を発行するとともに、定期的に活動内容を事業所内に掲示したり、ブログに掲載することにより、情報を発信している。
	10	個人情報に十分注意しているか	○			マニュアルに沿って適切に対応している。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			研修を実施するとともに、事業所内に掲示することにより、周知している。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回実施している。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を年2回実施するとともに、虐待防止チェックリストをもとに、支援方法を振り返りを行っている。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に身体拘束についての説明を実施している。現在は該当者なし。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者よりアレルギーや服薬についての情報を収集し、職員間で共有している。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ひやり・はっと報告書を作成し、リスクマネジメント会議を月1回開催し、共有している。